

2008年秋の昆虫探し・森あそび報告 10月9日

総合児童センター主催 NPO 法人 和光・緑と湧き水の会共催
開催日 2008年10月5日(日) 10時~12時 参加者 52名
担当者 川村、小倉、星野(児童センター)
観察指導 高橋勝、沖野、飯島、寺井、竹内、坂井、三浦、東、高橋絹、高橋(特別参加)



目的 樹林公園で、8年前から植生回復を行ない、コナラ、クヌギなどの落葉樹を育てながら、昆虫など生き物の棲みやすい環境づくりを行なってきました。その自然の回復(ハラビロカマキリ)してきた森には、日が当たる草原に昆虫たちが棲めるようになってきました。どんな不思議に出会えるかみんなで森を観察しましょう。生き物の大切さを体感できる良い環境で、秋の昆虫探し・森あそびを行います。

観察会の紹介

花時計前の広場 19家族・盛況でキャンセル待ちも 森あそび・落ち葉でふかふかの地面で不思議発見



暗い森でモグラ塚を掘ったらモグラのトンネルが見つかりました。

草原でコオロギ捕まえた。



高橋さん・コムスジ捕る。テングチョウもいるとの事。捕った昆虫を顕微鏡で観たり、名前を調べたり。



クヌギの森に全員集合。一休みしながら森作りのお話。今年実がなったクヌギのドングリ探し。



丸いクヌギのドングリ



児童センターで育ったカブトムシの幼虫たち。木の切り株のそばに穴を掘り、自然の森に返そう。幼虫さん自然の森で元気に育ってね。



サクラの老樹の多い樹林公園の森の中に、コナラ、クヌギの若い森が出来て来ました。

生き物たちが棲める森作りの話やクヌギのドングリ探し、バッタ、コオロギ、カマキリ、クサキリ、ゴミムシなど大人も子供も自然の中で生き物たちに触れ、楽しい観察会

クヌギの森で全員集合



2008年10月9日作成 高橋絹世

2002年4月 暗い森を間伐し明るくなった森で、ドングリから育てたコナラ、クヌギの幼樹を移植し、苗床づくりから始めました。



2008年10月木も大きくなって、昆虫が樹液に集まるようになっていいね。

